

ちばの木が、未来を育む。 伐って、使って、植えて、育てて。



森林のはたらき

千葉県の森林は、私たちの暮らしと深く関わる機能を有しています。
その恩恵は日常の暮らしの隅々にまで広がっています。

土砂災害防止 土壌保全

土砂崩れ・流出を防ぐ

水源涵養^{かんよう}

雨水を土壌に蓄え、
河川の洪水防止や、
水量を安定させる

地球環境 保全

二酸化炭素を吸収し、
地球温暖化を抑制する

物質生産

木材やきのこ等を
生産する

保健・ レクリエーション

保健や
レクリエーションの
場となる

生物多様性 保全

多くの生物が生息する
場となる

快適環境 形成

防風や大気浄化により
快適な環境をつくる

文化

伝統文化伝承の場とし、
自然観をつくる

伐
っ
て

使
っ
て

植
え
て

育
て
て

森林資源の 循環利用

森林がもつ機能を十分に発揮するためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を行うことが大切です。この循環利用により、適切な森林整備が実施されるとともに、将来の木材利用が可能となります。

また、二酸化炭素を吸収した木材を木製品として使うことは、炭素を長期間貯蔵することにつながります。

伐採跡に適地適木で再造林し、適切な植栽密度で植林します。

植える

使う

製材・加工して建築・
内装・造作・製品へと
活用します。

育てる

下刈り・除伐・
枝打ち・間伐で、
育成環境を
確保します。

伐る

生育段階に応じた間伐と
成熟期の主伐を計画的に実施します。



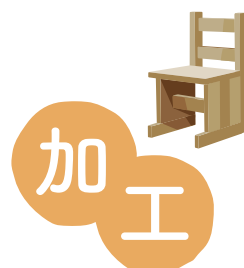
ちばの森から木製品になるまで

千葉県は、県土面積の約3分の1が森林です。

人工林では、スギの占める割合が最も高く、

その多くが利用期を迎えています。

「ちばの木」を使うことで、千葉県の森林を元気にしましょう。



画像提供：千葉県森林組合



画像提供：千葉県森林組合

製材



画像提供：株式会社三橋管サービス 三橋製材所